

活動報告

兵庫頸髄損傷者連絡会 定例会報告

宮野 秀樹

年末は寒かったですね。そして年が明けても寒いです。兵庫でも年が明けてから雪が降って積もるなど頸損泣かせの天候と気温が続いています。というワケで（どういうワケかはわかりませんが）、昨年11月13日（日）に神戸市勤労会館会議室において開催した定例会について報告しておきます。

定例会は、会の運営において総会で出た意見や会員ニーズを反映できているかを、役員のみならず会員も一堂に会して中間チェックする会合です。行事やイベント活動の振り返りだけではなく、生活や身体について困っていることの相談、それぞれが抱える問題、そして在宅や病院で情報入手に困っている頸損者の情報などを、みんなで共有しながら解決していくための情報交換、そして孤独に陥らないためのピアサポートも目的としています。

今回の定例会にも、普段の行事になかなか出てこられない仲間が参加してくれました。そして人工呼吸器を使用する仲間も2名参加してくれたのです。「久しぶり！」と声かけられること、どんなに重度な障害があっても集まって語り合うことができるというのがなによりも嬉しいことなんです。会合では活動報告に対する厳しい意見や出口が見つけにくい制度の問題など重い雰囲気になることもありますが、みんなで活路を見いだそうとする空気感に触れるだけでも意味があります。

また、今回はミニ勉強会として「障害者が65歳になることで介護制度に起こる問題」についてみんなで情報共有しました。定例会終了後は、三宮のイタリアンレストランで交流会を行い、みんなでわいわいガヤガヤ語り合いました。大変有意義で充実した一日となったということを報告しておきます。

